

外国語科(英語)

言語活動「読むこと」の指導事項のポイントは何か。

1 文字や符号を識別し、正しく読むこと。

※ 「文字や符号を識別し、正しく読むこと」とは、アルファベットの文字の形の違い、各符号のもつ意味や使い方などを認識した上で、英語の綴りを見て正しく発音できることである。

2 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。

※ 「黙読」は、声を出さずに読むことである。

→ 読み手が自分に合った速度で読むことができ、確認のため繰り返して読んだり、前に戻って読み返したりして柔軟な読み方を行うことができる。

※ 「音読」は、黙読とは異なり、声に出して読むことである。

→ 書かれた内容が表現されるように音読ができるように指導することが大切である。

3 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

※ 「正確に読み取ること」とは、一語一語の意味や一文一文の解釈など、内容の特定部分にのみとらわれたりすることなく、書き手の伝えようとすることを正確に読み取ることを示している。

(例1)「物語」の場合

- ・ どんな登場人物がいるのか。
- ・ 主人公は誰か。
- ・ 話がどのように展開していくのか。 など

→ 大まかな流れをつかみながら読み取りができるように指導する必要がある。

(例2)「説明文」の場合

- ・ 特に中心となる事柄など大切な部分は何か。

4 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。

※ 「書き手の意向を理解し」とは、伝言や手紙、メモなどによって、書き手はどのような意思や考えを読み手に伝えたいのかを理解することである。

→ 正しく理解することがその内容に適切に応じることの前提となる。

※ 「適切に応じる」とは、例えば、手紙の内容に応じて必要な返事を書いたり、電話をかけたり、メモを書いたり、あるいは簡単な絵や図表を用いたりして、読み手が書き手の意向をくんで応じることである。

5 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

※ 「感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどする」とは、学習段階に応じて、既習の表現を用いて、読み手としての感想や意見、賛否及びその理由を表現させることである。

→ 話の内容や書き手の意見などを適切に理解することが前提となる。